

革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)終了時評価報告書概要



- ・ImPACTとは、破壊的イノベーションを目指した挑戦的な研究開発制度。
- ・目利き力のある研究者をPMに任命し、予算配分などの権限を付与。
- ・550億円の基金を造成、5年間(H26～H30年度)の事業を完遂。

【評価結果】

- ・16名のPMを採択、プログラムを推進。
- ・参加者の自己評価及び外部専門家の評価のいずれも、斬新で革新性のある研究開発が実現したと評価。
- ・ベンチャー起業(15件)など、事業終了後も継続して発展。

<PM: Program Manager>

【今後の改善点】

- ・研究者のみならず幅広い人々の意見を取り入れて、野心的な目標を設定。
- ・海外研究者の取込みと国際連携を強化。
- ・課題に対しポートフォリオを構築、スマールスタートで成果に応じ資金配分するステージゲート方式を採用。

ムーンショット型研究開発制度に反映

【主な研究成果】

自動車のEV化を先取りする 軽量・強靭化ポリマー素材



伊藤 耕三
東京大学
大学院 / 教授



しなやかタフポリマー
・車体構造用樹脂の剛性を維持したまま
大幅に軽量化

商用利用可能な小型高性能の XバンドSAR衛星システム



白坂 成功
慶應義塾大
/ 教授

小型XバンドSAR衛星システム
【収納時】
0.7m
0.7m
0.7m
【展開時】
3.5m
従来比1/10に小型・軽量化
製造コストを1/20以下に

Society 5.0の実現に向けた サイバー空間形成の基盤技術



原田 博司
京都大学
大学院 / 教授



超ビッグデータプラットフォーム
2,000億件
規模の
データを
数分で処理
100km以上
面的カバー
ビッグデータ
収集国際標準
無線NW
医療政策立案に活用
西日本豪雨災害支援に活用